



日本共産党青梅市議団

青梅市議会議員

みねざき拓実 市議会報告

暮らしの相談、無料法律
相談(要予約)は、お気軽に
どうぞ！ 2019年10・11月

連絡先
070-5590-6081

ついに見直しへ！ 新市民ホール計画

東青梅市民センターは現地で存続させましょう

「演劇も、音楽もできない新市民ホール計画」への批判が広がり、市はついに新市民ホールの計画を見直すことを表明しました。

この間、市は批判の強かった「平土間式ホール」などの計画について、「市が検討して、すでに決めたこと」としていましたが、利用団体などがあきらめずに運動を広げる中、今年3月には計画の見直しを求める陳情が市議会で採択されました。これらを受け、市は計画を見直しすることを事実上認めてきましたが、6月18日、市議会の東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会に、「劇場型ホール」を含む具体的な見直しの方針が報告されました。

身近な場所に公共施設が必要

この新市民ホール計画は、東青梅一丁目のケミコン跡地に、東青梅市民センターや福祉センターなどもあわせて、いくつかの公共施設を集約する計画で、市全体で公共

施設を30%削減する計画の一つです。市民の批判を受けて計画内容を見直しすることは評価しますが、削減ありきの計画全体についても見直しが必要です。

身近なところに公共施設があってこそ、文化活動やスポーツ活動に気軽に参加でき、長く健康を維持できます。そして、今年の台風災害からも、身近な場所に避難場所があることの重要性は、ますます明らかになっています。

今度こそ市民参加を徹底して計画を見直し、東青梅市民センターは現地に存続させるように求めていきます。



新市民ホールを含む複合施設予定地(現市仮設駐車場)。現在の福祉センター、健康センター、旧教育センターの敷地も含めた市の複合施設と、国の施設(ハローワーク、税務署など)、さらに民間施設もあわせて整備する大型計画のため、難航しています。

駅舎建て替えの見通しが示されました 一日も早く東青梅駅北口にエレベーターを

地域住民の長年の願いである、東青梅駅北口のエレベーターの設置がついに動き出します。市はこれまで、駅舎の建てかえの際にエレベーターを設置する旨の考えを示してきましたが、JRは今年度に駅舎建てかえのための調査設計を実施することになりました。

そして来年度に基本設計、2021年度は実施設計の予定です。2023年度に予定しているグリーン車の導入に合わせ駅舎の建てかえを含めた改良計画を検討しているとのこと。私は「市長が積極的にかかわり催促するな

どして、1日も早く駅舎の建てかえを完了させるべきだ」と求めたところ、市長は「機会を捉えて、JRに早期の駅舎の建てかえを要請する」と答えました。

台風災害にお見舞い申し上げます
復旧への対応や、青梅市の防災対策・対応について、ご意見、ご要望をお寄せください

幼児教育・保育の無償化の完全実施を！

10月から幼児教育・保育の無償化が始まりました。無償化は世界の流れであり、当然進めていくべきです。しかし、今回の「無償化」では、すべての子どもが対象にはならず、また、無償化の対象になっても、今まで保育料に含まれていた給食の副食費（ご飯以外の食事＝つまり、おかずのこと）は、年収360万円以上の世帯では、実費徴収されます。副食費は一律4500円ですので、例えば今まで4500円の保育料を払っていた世帯は、無償化後も4500円を払わなければなりません。武蔵野市や小金井市、23

区の多くでは副食費を市や区が全額負担します。食材料費の実費負担化は保護者・保育関係者の願いに逆行するものです。保育園の事務負担の増加やプライバシーの問題など実費徴収の問題点を指摘し、「青梅市でも副食費を全額補助するなどの施策が必要だ」求めました。

また、保育園の待機児問題については、かねてから待機児の多い東部地域に認可保育園を増設するべきと求めてきましたが、来年度から東部地域の2カ所で認可保育園が開園されることになりました。

子どもたちが楽しく過ごせる学童保育を！

昨年度まで青梅市社会福祉協議会（以下、社協）が、市内16の学童保育所のすべてで指定管理者になっていましたが、今年度から3つの株式会社が指定管理者に加わり、11の学童保育所で指定管理者が変わりました。

今まで社協で働いていた指導員が新しい指定管理者に雇用されたかどうか、現場で問題は起きていないか、子どもたちに戸惑いはないか、学童の質がきちんと担保されているかどうかなどを質問し、指定管理者の足りない点を補ったり質を高めたりするために、第三者評価の実施を求めてきました。

また、学校の教室を利用している学童では、1つの教室の定員が50人のところがあります。学校で授業をする時には1クラス35人とか40人であるのに、50人の児童を詰め込むのは無理があります。のびのびと動けずにストレスがたまりますし、学童が嫌いになってしまうのではないかでしょうか。今までも、この問題を指摘して徐々に定員が少なくなっていますが、まだ5つの学童保育所では1つの教室の定員が50人です。児童1人当たり1.65平米という国基準も満たしていないので、早急な改善を求めてました。



青梅市の学校トイレ改修工事

2年間前倒しが決定しました！

【これまでの予定】

2020年	吹上小	第一中
2021年	河辺小	吹上中
2022年	霞台小	第六中
2023年	友田小	新町中
2024年	若草小	第六小 第七中 西中
2025年	第七小	今井小 藤橋小 泉中



【9月市議会で示された新しい予定】

2020年	吹上小	第一中	吹上中	第六中
2021年	河辺小	霞台小	若草小	新町中
2022年	友田小	藤橋小	西中	泉中
2023年	第六小	第七小	今井小	第七中

消費税強行許せません！

小中学校のトイレの改修について、市の計画では「2023年までに」とされていた工事予定が、今年になって「2025年までに」と先延ばしされていました。保護者からは「子どもが学校でトイレに行けなくて困っている」など切実な声が寄せられていました。

日本共産党青梅市議団は、かねてより「早く工事を」と求めてきましたが、9月議会で「2年間前倒し」の方針が示され、2023年までの全校完了の計画内容も示されました。

消費税が2014年に8%に増税され、くらしは大変です。日本共産党市議団はこの問題を取り上げ、市は国に「増税すべきでない」と求めるように訴えてきました。

結局、安倍政権は10%増税を強行し、「ポイント還元」など複雑な仕組みで、市内でも「対応できず商売をやめる」の声も聞かれています。私たちはこれからもあきらめず「まず5%に戻せ」と求めていきます。